

## 広島県住民ベースがん登録に基づく二次保健医療圏別の がん患者の住所と初診断・治療病院住所との関連

野崎 彩乃、小田 崇志、原上 沙織、紺田 真徹、伊藤 桂、  
中村 美保子、吉田 生恵、清水 紀子、杉山 裕美

放射線影響研究所 疫学部

### 目的

広島県では、7つの二次保健医療圏（以下、医療圏という）を設定している。広島県の第4次がん対策推進計画におけるがん患者の受療動態を検討するため、患者の住所と初診断・主治療を受けた病院の住所との関連を検討した。



図1：広島県の二次医療圏・拠点病院配置図

### 方法

集計対象 を選択	<b>集計対象</b>
	2016年—2019年診断で、広島県がん登録に登録された者かつ診断時住所が広島県の者 (N = 91,508) 死亡診断書のみで登録された者 (DCO : N = 1,295人、1.4%) を除く
集計	<b>クロス集計 (住所は全て医療圏単位)</b>
	患者住所と初診断病院住所の関係 患者住所と主治療病院 <sup>1</sup> 住所の関係 <sup>2</sup>
結果の 算出	<b>結果</b>
	診断時年齢別に結果を算出 (0-14歳、15-39歳、40-74歳、75歳以上)

<sup>1</sup> 主治療病院：自施設で腫瘍的治療・放射線治療・薬物治療のいずれかの治療を行った病院のうち、最も優先順位の高い治療を行った病院 (腫瘍的治療・放射線治療・薬物治療)  
<sup>2</sup> 主治療を受けていないものは除外した

### 結果

#### ①患者住所と初診断病院住所・主治療病院住所の関係 (全年齢)

広島、呉、尾三、福山・府中、備北の80%以上の患者が居住地と同じ医療圏で初診断を受けていたが、広島西の26%、広島中央の36%の患者が居住地と異なる医療圏で初診断を受けていた。(図2、付表1)

広島、呉、福山・府中の80%以上、尾三、備北の70%以上の患者が、居住地と同じ医療圏の病院で主治療を受けたが、広島西、広島中央、備北では20%以上の患者が広島医療圏の病院で主治療を受け、尾三、福山・府中では7%の患者が広島県外の病院で主治療を受けていた。(図3、付表2)

表1：集計対象総計 (年齢別)

年齢	初診断病院	主治療病院
全年齢	90,211 (100%)	71,262 (100%)
0-14歳	200 (0.2%)	163 (0.2%)
15-39歳	1,858 (2.1%)	1,685 (2.4%)
40-74歳	48,677 (54.0%)	42,734 (62.9%)
75歳以上	39,476 (43.8%)	26,680 (37.4%)

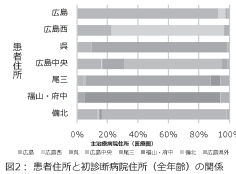


図2：患者住所と初診断病院住所 (全年齢) の関係

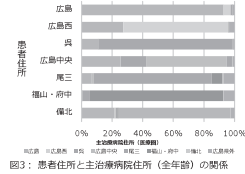


図3：患者住所と主治療病院住所 (全年齢) の関係

#### ②患者住所と初診断病院住所・主治療病院住所の関係 (年齢別)

広島医療圏を除き、居住地と同じ医療圏の病院で初診断・主治療を受けた割合は、0-14歳が最も低く、年齢が上がるとともにその割合は高くなり、75歳以上が最も高かった。(図4、図5、付表1)

0-14歳でみると、福山・府中医療圏では、初診断では同じ医療圏の病院で受ける割合が最も高かったが、主治療は広島県外で受ける割合が最も高かった。福山・府中医療圏以外では、初診断・主治療ともに広島医療圏を受診する割合が最も高かった。(図5、図6、付表2)

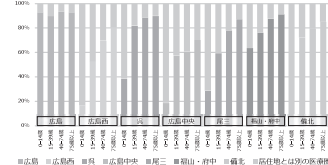


図4：患者住所と初診断病院住所の関係 (年齢別)

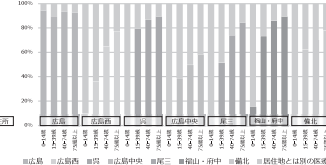


図5：患者住所と主治療病院住所の関係 (年齢別)



図6：患者住所と初診断病院住所の関係 (0-14歳)



図7：患者住所と主治療病院住所の関係 (0-14歳)

### 結論

どの医療圏でも、居住地と同じ医療圏の病院で初診断・主治療を受ける割合が最も高かったが、広島医療圏に隣接する医療圏では広島医療圏の病院、県東部の医療圏では広島県外の病院を受診する患者が多く、若い世代ほどその傾向が強くなった。今後は、病院へのアクセス、より専門的医療を受けられるように年齢・地域バランスを考慮した医療施策を行っていく必要がある。

付表1：患者住所と初診断病院住所 (年齢別) の関係

年齢	広島	広島西	広島中央	広島東	福山・府中	備北	尾三	県外
全年齢	71,262	18,743	25,812	11,234	14,567	10,989	10,937	1,030
0-14歳	163	15	12	10	18	14	10	1
15-39歳	1,685	150	120	100	150	120	100	50
40-74歳	42,734	10,500	14,500	6,000	8,000	6,000	6,000	1,734
75歳以上	26,680	6,700	9,000	3,700	5,000	3,700	3,700	580

付表2：患者住所と主治療病院住所 (年齢別) の関係

年齢	広島	広島西	広島中央	広島東	福山・府中	備北	尾三	県外
全年齢	71,262	18,743	25,812	11,234	14,567	10,989	10,937	1,030
0-14歳	163	15	12	10	18	14	10	1
15-39歳	1,685	150	120	100	150	120	100	50
40-74歳	42,734	10,500	14,500	6,000	8,000	6,000	6,000	1,734
75歳以上	26,680	6,700	9,000	3,700	5,000	3,700	3,700	580



日本がん登録協会 第32回学会集録 COI開示 筆頭著者名：野崎 彩乃 当表題発表に關し、開示すべきCOIはありません。本研究は、がん登録推進法第18条に基づき情報の提供を受け、広島県がん登録室において独自に作成・加工した資料です。